

忠岡町教委交渉のまとめ

2019.12.6

1学級の通常学級在籍児童と支援学級在籍児童の合計が41人以上となった際、昨年度に引き続き町独自で非常勤講師を配置して、少人数学級編制を実施するための予算を計上していく。

施設・設備については、予算の範囲で優先順位をつけ、年次計画的に実施していく。

紙代などの消耗品費が不足した場合は、実態を精査した上で町教委に連絡ください。

全国学力・学習状況調査について、学校別公表は行わない。また、各学校に過去問題での練習などの強制は行っていない。

小・中学校「特別の教科・道徳」の教科書外の教材の使用については、学習指導要領に基づいており校長が判断すれば、禁止するものではない。教育課程の編成権は学校にある。

勤務時間管理については、今年度の2学期よりタイムレコーダーを導入することで、職員の勤務時間を正確に把握し、適正に管理している。これにより長時間勤務が解消されたとは考えていない。

学校図書館司書とスクールカウンセラーの小学校配置は来年度も引き続き実施できるよう取り組んでいる。

「評価・育成システム」の課題については、町教委としては認識していないが、現場から校長を通じて意見をあげてくれれば府教委に伝えていく。

忠岡町教育委員会と泉北教職員組合の間に従来からある労使慣行は遵守する。

忠岡町教委交渉
町独自予算で41人超え学級回避

昨年12月6日、要求書に基づく泉北教組と忠岡町教委の交渉を行いました。町教委の主な回答は左の通りです。

少人数学級 大きな前進
支援学級在籍児童を含む通常学級の人数が41人を超えないよう、町独自

で非常勤講師を配置して少人数学級編制を実施するための予算を昨年度に引き続き計上する、との回答は、大きな前進です。

賃金リンク、問題と認識せず

一方で、町教委は、「評価・育成システム」については、賃金リンクも含めて問題とは認識していないと回答。「システム」の賃金リンクは教員のやる気を削ぎ、「チーム学校」の考え方にも逆行する、という泉北教組の追及に対しても、「校長を通じて意見が上げれば府教委に伝えていく」との回答に留まっています。

長時間労働に 具体的対策を

昨年2学期よりタイムレコーダーが実施されています。リアルな勤務実態をつかんで、長時間労働解消にむけての具体的な対策につなげていくことを、泉北教組として強く要求していきます。



教育のつどい大阪2019

どなたでも参加できます！

問題別分科会

・2020年1月19日(日) AM9:30~ (会場9:00)
・私立大阪暁光高校

発達・評価・学力問題 / 障害児教育 / 幼年期の教育 / 思春期・青年期の進路 / 人権と教育 / ジェンダー平等の教育 / 平和と国際連帯の教育 / 民主的な学校づくり / 父母・地域住民との共同 / 教育条件 / 環境・公害問題と教育 / 文化創造と教育 / 教育課程・教科書 / 生活科・総合学習 登校拒否・不登校は今年度、教科別分科会で開催

教科別分科会

・2020年1月25日(土) AM9:30~ (会場9:00)
・羽曳野市立古市小学校

国語教育 / 外国語教育 / 社会科教育 / 算数・数学教育 / 理科教育 / 美術教育 / 音楽教育 / 技術・職業教育 / 家庭科教育 / 体育・健康・食教育 / 生活指導・自主的活動 / 登校拒否・不登校

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！